

総務産業委員会視察報告書

視察日程：令和6年10月29日、30日

視察地：北海道千歳市、苫小牧市

総務産業委員会 出席委員

委員長	辻中 隆	副委員長	射手矢 真之
	中藤 大助		中村 慎作
	大和屋 貴彦		野口 新一
	新田 輝彦		西野 辰也
	松村 正秀		

令和6年10月29日（火）
視察先 北海道 千歳市
視察内容 1. JAL（日本航空）との連携協定について 2. 100周年記念事業について
1. JAL（日本航空）との連携協定について JAL（日本航空）は、千歳市と双方の持続可能な発展に向けて、令和3年10月18日に連携協定を締結しました。JALと千歳市は、これまでも千歳の農産品の6次産業化、千歳でのワーケーションに向けた取り組みなど地域の活性化を目的としたさまざまな取り組みを行ってきました。 今後は、連携協定締結により、モデルツアーの実施などによるワーケーションのさらなる推進、地場産品を活用した商品開発支援、「JALふるさと納税」を活用した情報発信をはじめ、相互人事交流による人材育成、次世代モビリティの実証実験、周年記念行事の支援・協力など、さまざまな領域で連携することで、千歳市の魅力価値を高め、地域の活性化や千歳ファンの拡大を図っていくとのことでした。 協定事項（6項目）の実績のうち、千歳市の「シティセールス」に関する事項については、「空のまち」らしさのある納税返礼品の開発と、保有しているJALのマイルを使って、日本各地の名産品や工芸品等と交換できる「JALふるさと納税」を活用した情報を発信したり、さまざまな機会を捉えた空港周辺地域の産業活性化を図る情報を発信しているなど、種々意見交換、調査してまいりました。
2. 100周年記念事業について 千歳市は、空港の発展とともに成長し、その原点は、大正15年（1926年）、当時の千歳村民が力を合わせて作った飛行場に、同年10月22日に「北海」第1号機が着陸したことが始まりであり、2年後の令和8年（2026年）に100周年の節目を迎えるとのことです。記念すべき100周年に向けて、さまざまな取り組みをしており、各種団体への補助金の申請など、補助金の対象、審査等について調査してまいりました。 本市（泉佐野市）としましても、関西国際空港の玄関都市として共存共栄を図っていく上で、大変参考になる内容でした。 今後とも、関西国際空港の40周年、50周年、そして100周年に向けて、本市と関西国際空港の双方が持続可能な発展に向けて取り組んでまいります。

令和6年10月30日（水）
視察先 北海道 苫小牧市
視察内容 1. とまチョップポイント事業について 2. 議会傍聴によるポイント付与について 1. とまチョップポイント事業について とまチョップポイントは、苫小牧市で利用できる地域完結型ポイントで、地域経済活性化のため行われている事業です。 市民の皆様が、市内加盟店のご利用やイベント参加、イオン・マックスバリュの来店ポイント、アプリの広告閲覧等で貯めたポイントを加盟店でご利用頂くことにより、ポイントが循環され苫小牧市の活性化につながることを目的としているとのことです。 本市（泉佐野市）でも、推進している地域ポイント「さのぼ」は、いこらモールで来店ポイントが付与され、施設内の加盟店で利用されていますが、他の大型スーパーなどでの加盟店がありません。地域の皆様からの要望もあり、一部の議員が議会で質問したこともありましたが、本市にもイオンがあり、来店でのポイント付与が可能になれば、Win-Winの関係からさらなる買い物客の増加が期待できるものと考えています。 苫小牧市では、大型スーパーであるイオン・マックスバリュで来店ポイント付与がされていること大変参考になりました。さまざまな条件はありますが、苫小牧市で来店ポイントが付与できているのであれば、本市でも導入できるように担当部署に検討を願いたいと考えています。 ほかにも、苫小牧市では、母子手帳発行に500ポイント、出生届の提出に1000ポイントが付与される等、本市が取り組んでいない事業もあり、大変参考になりました。 2. 議会傍聴によるポイント付与について 本市（泉佐野市）は、議会改革のもと、過去には土曜日、日曜日に議会を開催するなど、議会に対する関心を高めていただき、多くの皆様に議会に傍聴に来ていただくためのあらゆる対策を講じてきました。1年に1度開催されることも議会の開催の折には、ご家族を含め50名程の関係各位の傍聴者が議会を訪れますが、本会議に至っては、1～2名程度の傍聴者となっているのが現状です。 苫小牧市では、ポイント付与することにより、傍聴者も増えたとの新聞記事もあり、本市においても取り入れるべきだと感じました。